



令和7年12月15日(月)3限目に3年生を対象として骨髓バンク語り部講座を行いました。講座ではドナーである西尾博さんが骨髓の提供を行った時の様子を当時の写真を使いながら説明され、ドナーになったことで人生が豊かになったとの感想を述べられました。一方、骨髓の提供を受けられた金尾寛子さんは病気の様子や当時から現在までの状況を説明されながら骨髓バンクの大切さを述べられました。お二人の話から骨髓バンクが命をつなげる重要な役割を果たしていることを感じた一日になりました。

